

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

平成24年度 国有林モニター会議（第1回・奈良県十津川村）の開催



復旧工事箇所を視察



災害の痕が残る現場を歩く



モニター会議の様子

【企画調整室】近畿中国森林管理局では、国民の森林「国有林」をめざして様々な取組を行っているところでありますが、国有林について国民の皆さまの理解を深めるとともに、ご意見やご要望を国有林行政に反映させるため、管内77名の方に「国有林モニター」として、近畿中国森林管理局の取組に関する情報提供やモニター会議、アンケートなどを行っています。

今回、7月19日（木）に国有林モニター会議（第1回）を開催し、奈良県内の国有林等の現地見学及び意見交換会を実施しました。

はじめに、奈良県十津川村内において、昨年の台風第12号災害により被災した森林の復旧事業（民有林直轄治山事業地）を見学しました。

モニターの方々からは、崩壊地の現状を目の当たりにして「報道で観る以上の規模だったこと」や「防災のための治山事業の必要性の再認識」、「今後台風シーズンを迎え予防措置を図ってほしい」等のご意見・ご要望をいただきました。

続いて、高取町の高取山国有林において、森林整備事業地の見学を行ったのち、意見交換会を実施しました。

意見交換会では、当局の取り組みや森林・林業行政への要望など、次のようなご意見・ご要望が寄せられました。

- ・民有林の森林整備推進に向け積極的な働きかけを行って欲しい。
- ・国有林は国民全体の財産であり、フィールドの提供を含めた森林環境教育の推進を行ってほしい。
- ・小中学生を対象とした体験林業や出前授業を各府県で行って欲しい。
- ・森林・林業に対する国民の関心を高める取り組みとして、モニター会議のようなイベントを定期的に行って欲しい。
- ・国産材のメリットをもっと発信して、ハウスメーカー等を含めた国産材利用の促進を徹底し、これまで外国産材を使用してきた部材の国産材化への取り組みが必要。
- ・ナラ枯れなどの森林被害のまん延防止に努めてほしい。
- ・マスコミをもっとうまく利用して、継続的に情報を発信し、国有林をPRして欲しい。

今回の会議で得られた貴重なご意見・ご要望を今後の国有林野の管理経営に反映させるよう努めていきたいと考えています。

「夏本番」 雷・スズメバチに注意しよう！

【総務部 職員厚生課】夏休みは、ハイキングやキャンプ等、一般の方も森林に入る機会が多くなると思いますが、夏山の天候は変わりやすく、突然カミナリが発生し雷雨になることがあります。

落雷の危険性は、丘や山など小高い場所や草原、河原など広く開けた場所で人体が突出している状態が最も高くなります。また、高い木の下も、木に落雷があった場合、雷の電流が木より電気抵抗が低い人体に分流（側撃）することから危険です。近くに建物等がないときは、できるだけ低い場所に移動し、しゃがんで姿勢を低くします。

また、両足をできるだけ閉じることで、落雷時に地表面を流れる電流が人体に分流するのを最小限にとどめることができます。更に、森の中では、直近の幹や枝から4メートル以上離れ、雷の側撃を防止します。

夏に限りませんが、森林で最も注意すべき生物はハチ



木の枝に作ったスズメバチの巣



ハチに刺された時に使用する携帯用自己注射器（エピペン）

です。特にスズメバチは毒性が強く、夏から秋にかけて、個体数が増えるとともに、攻撃性も高くなります。多くのハチが飛び回っているのに気づいたら、巣が近くにある可能性があります。ハチを刺激しないよう静かに遠ざかるようにしましょう。

ハチに刺された場合は、速やかに巣から離れ、安全な場所に避難し、清潔な水等で刺された傷口を洗い流すとともに冷やし、虫刺され用の薬を塗って安静にします。ハチ刺され被害で恐ろしいのは、ハチ毒によるショック症状（アナフィラキシーショック）です。嘔吐、寒気、全身のじんましんといった全身症状から、呼吸困難や意識障害などのショック症状があらわれ、時には死に至ることもあります。全身症状があらわれたら、一刻も早く、医師の治療を受ける必要があります。

国有林野事業の職員は、森林で作業するときは自己注射用アドレナリン注射液（エピペン）を所持し、万一の場合に備えています。エピペンは、一時的にショック症状を緩和させる効果があり、医療機関へ搬送されるまでの症状悪化を防止します。（エピペンは、平成23年9月から通常の保険診療で処方できるようになっています。）

森林を憩いの場として楽しむため、ハイキングやキャンプ等で森林を訪れる場合は、急な雷雨やハチに十分注意しましょう。

地域ニュース

オオダイガハラサンショウウオ 現地学習会を開催（大杉谷国有林）

【三重森林管理署】7月19日（木）、天然記念物オオダイガハラサンショウウオの保護を目的に、三重森林管理署、三重県教育委員会、三重県農林水産部と共同で生態等に関する学習会を開催しました。

三重県多気郡大台町の大杉谷国有林で行われた学習会には、署、県、市町村の関係者21名が参加し、約2時間生息の確認調査を行いました。

例年40個体程度の幼体が確認されている場所でしたが、今年度は幼体6個体しか確認できませんでした。確認個体数が少なかったのは、近年の大雨かその他の要因によるものなのかは不明ですが、情報を蓄積していくことが大事であり、今後も学習会を継続していくとしています。

オオダイガハラサンショウウオは、三重県指定天然記念物として平成21年に保護管理指針が策定され、当署では治山事業等において生息に配慮した工法への転換を行い保護管理に協力しています。



幼体調査の様子

幼体の計測（オオダイガハラサンショウウオ）

落第忍者乱太郎『京都の森を守ろう』 ウォークを開催（京都東山周辺）

【京都大阪森林管理事務所】7月21日（土）、京都東山周辺及び高台寺山国有林において、第2回「落第忍者乱太郎『京都の森を守ろう』ウォーク」を開催しました。

このウォークは、森の中でスタンプラリーや、自然を使ったゲームを楽しみながら、小学生たちにもこの森の現状を知ってもらおうと、京都大阪森林管理事務所、京都伝統文化の森推進協議会、朝日新聞、京都市、京都森林インストラクター会等と協力して開催し、当所からは、外山所長、溝部上席調整官、今井業務調整官、グリーンサポートスタッフ2名、計5名がスタッフとして参加しました。

当日は、時折雨が降るあいにくの天候となりましたが、親子197人の方々に参加をいただき、京都森林インストラクター会等の説明を聞きながら、青蓮院（しょうれんいん）北隣の「あおくすの庭」から清水寺までのコースを（約3km）、高台寺山国有林を散策しました。

参加者は、コース上に設定したスタンプラリーやネイチャーゲーム、木の伐採見学等を満喫し、笑顔でゴールしていました。

ゴールとなった清水寺では、まず、大西清水寺執事長から小学生たちに京都東山の状況や森を守ることの大切さについて説明がありました。次に京都インストラクターによるウォークのおさらいを行った後、スタンプラリーのプレゼント抽選会を行い、参加者の大きな拍手と笑顔で終了しました。



『斑鳩の里法隆寺古事の森』 普及・啓発イベント実施

【奈良森林管理事務所】7月21日(土)に斑鳩(いかるが)町に所在する野山国有林内に設定している「斑鳩の里法隆寺古事の森」の普及・啓発を目的に、法隆寺及び野山国有林において法隆寺特別拝観や森林整備などのイベントを実施しました。

開催に当たり、奈良森林管理事務所長から国有林野事業における「木の文化を支える森づくり」への取り組みとして、歴史的木造建造物の修復用資材の供給に寄与するため、関係機関やNPO等との協力・連携を図りながら、200～400年というこれまでにない超長期にわたる森林づくりの象徴的な取り組みとして「古事の森」が設定されたことを説明しました。

また、大野玄妙法隆寺管長からは、林野庁は何百年も先を見据えた取り組みを行っているが、古来より400年も続いた政府はなく、「古事の森」がどうなっていくかは想像できないが、今、文化財を守るための取り組みを始めると意識を持つことが大切であるとの講話をいただきました。

午後は法隆寺から野山国有林へ移動し、「古事の森」の森林整備作業を行う予定にしていたましたが、作業直前に雨が降り出したため予定を変更し、春日山原始林及び

「春日奥山古事の森」の視察を行い、春日山原始林では、「古事の森」が将来目標とする姿をイメージしていただきました。

参加者からは、「古事の森」設定当初から参加しており、森林整備作業ができなかったことは残念だが、春日山原始林の視察により将来の姿がイメージでき、有意義な1日が過ごせたなどの感想が聞かれました。

当所では、今後も古事の森育成協議会との連携を密にし、「古事の森」の普及啓発に向けて取り組んでいきます。



『笑顔の親子いっしょにあそぼ』 青少年育成事業イベント

【岡山森林管理署】6月24日(日)、美作(みまさか)大学体育館において津山青年会議所主催の「笑顔の親子いっしょにあそぼ」が開催されました。このイベントは、クラフト市で作成したものを親子でプレゼントとして交換したり、ニコニコタイムといった親子で行う体操等の体験を通して親子の心のつながりを強くして、子どもに健全で豊かな心を育んでもらうことを目的としています。今年は、100組200人の親子が集まりました。

当署は4名の職員が参加し、イベントの中で実施されるクラフト市で木工クラフトを行いました。

今回の木工クラフトでは子どもたちが3～5歳ということもあり、①木のキーホルダー、②木のおきもの、③木のかお、というようにある程度作品を絞って作ってもらいました。作品の見本を見せながら、「どれが作ってみたい？」と尋ねると、子どもたちは「う～ん…」「どれにしようかな」と言いながら一生懸命考えていました。作りたいものを決めたら次は材料選びです。木の輪切り、種類の違うドングリ、松ぼっくりや短い枝から自分の使う材料を選んでいきます。ドングリや松ぼっくりの大きさに驚く子、ドングリを手に持っては嬉しそうにこちらに見せてくれる子など自然の材料に触れたときの反応はとても活き活きとしていました。



「ナニにしようかな？」



夢中で製作中の子どもたち

真剣な表情をしていました。完成した作品を得意そうに見せてくれる子どももいて、職員も楽しくイベントに取り組むことが出来ました。



「第4回森と水の学習会」開催
アサヒビールとの民国連携事業
【広島北部森林管理署】 広島北部森林管理署とアサヒビール「アサヒの森環境保全事務所」との共催による「第4回森と水の学習会」を7月19日（木）、甲野村山地域美しい森づくり推進協定を締結した協定区域内の「アサヒの森」で、庄原市比和小学校5、6年生児童19人を対象に開催しました。

開会にあたり、富田署長が、「今日、この森と水の学習会で学んだことをずっと忘れないで、森や自然を大事にする心をいつまでも持ち続けて下さい。そして皆さんが大人になったときには、そのことを子供たちに教えてあげてほしいと思います」と述べました。

「森の子体操」で体と頭をほぐした後、備北地域で同署と一体となり活動している森林ボランティア団体「びほく森のサポーターズ」の協力を得て、紙芝居「森はみんなの宝はじめようみんなで森づくり」を披露し、森林クイズも交えながら、森や水の大切さを楽しく学びながら児童らは一人ひとり、森づくりについて何ができるか、熱心に聞き入っていました。



紙芝居で学習中！

紙芝居終了後、作業道沿いの樹木や植物等について紹介しながら約40分の自然観察を行いました。午後からは、地元古頃（こごろ）集落の方を講師に迎え昔の農機具の説明や牧草背負を体験。森の体験学習として枝払い体験・年輪数え、当署提供による輪切りの材を利用した、



木クラフト作成中！

「世界で一つの木クラフト作り」にチャレンジ。児童らは、限られた時間の中で仕上げたオリジナル作品を笑顔で、お互いに見せ合っていました。

作品作りでは、枝の上にドングリや松ぼっくりなどをつけるなどの工夫を加えており、子どもたちの発想力の豊かさに驚きました。作品を作るとき子どもたちは夢中で、

最後に児童代表から「木の枝払い体験や自然観察が楽しかった。また紙芝居を通じて森林の大切さがわかった。これからも地元の自然を大切にしていきたい」と感想があり、夏の暑さに負けない児童らの元気な姿で、楽しいひとときを過ごしました。



世界にひとつ！ オリジナル作品

お知らせ

「森とのふれあいスタンプラリー」
森や動物たちの鼓動を感じに出かけよう!!

三箇所のスタンプを集めて応募しよう！

福井森林管理署管内にある三箇所のレクリエーションの森(松原風景林・天筒山風景林・鉢伏山野外スポーツ地域)に出かけ三箇所のスタンプを集めて応募しよう！

応募者多数の場合は、抽選で15名様に図書カード3000円分及び南越前町内温泉施設共通優待券(南越前町提供)1枚を差し上げます。応募は、お一人様1枚に限ります。(平成24年11月30日消印有効)

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。賞品の発送は12月中旬の予定です。

詳しくは <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/fukui/pdf/0801youshi.pdf>

レクリエーションの森とは？
 国有林には、自然とのふれあい・やすらぎの場としてレクリエーションの森があります。レクリエーションの森には、ハイキングや自然探勝のできる森林、四季折々の自然観察ができる森林など6種類あります。

- 自然休養林
- 自然観察教育林
- 森林スポーツ林
- 野外スポーツ地域
- 風景林
- 風致探勝林

これらをレクリエーションの森といいます。

もり
森林のギャラリー (局庁舎1階)
【8月の展示スケジュール】
 8/24・27
 「森林(もり)のつどい」【ピノキオ絵本で遊ぼう会】
 8/28～9/7
 「2012スケッチ教室グループ展」【みのむしプロ】

森林の市 開催決定！ 10月7日(日)
詳しくは次号にてお知らせします。